

# 躍進

1年  
学年だより

No.14

令和7年12月22日  
かほく市立高松中学校  
校長 塚田秀和  
学年主任 上谷由喜

## 主体的に学び、つながりを広げた二学期～互いに高め合い、次のステージへ～

長かった二学期が終わろうとしています。

運動会、生涯学習フェスタ、学習成果発表会、合唱コンクール、探究のポスター発表など、さまざまな行事を通して、生徒一人一人が大きく成長する姿を見ることができました。自分たちで考え、主体的に物事に取り組む姿が多く見られるようになったことは、大きな成長です。

また、探究活動や行事を通して、地域の方々と関わる機会も増え、地域交流にも積極的に取り組む姿が見られました。仲間と協力し、互いを尊重しながら高め合う集団へと成長してきたと感じています。

三学期は「二年生の〇学期」とも言われる大切な時期です。これからは先輩になる自覚をもち、行動や言葉により一層の責任をもって学校生活を送ってほしいと思います。一人一人の成長が、学年全体の力になります。三学期も、さらなる成長を期待しています。

### 「本質に迫る質問力とは？」（講師 松村玲郎さん）

12月9日（火）にMROアナウンサー松村玲郎さんを講師にお招きし、ワークショップ形式で「本質に迫る質問力」について学びました。「スキルアップを目指すには場数が必要！」という言葉に、生徒たちは大きくうなづきながら、自分から挑戦することの大切さを実感している様子でした。実際のやり取りを通して、質問の工夫次第で相手の考え方や思いがより深く引き出せることを学び、今後の探究活動や学校生活に生かしていく意欲が高まりました。

質問をするときは、常に相手を意識すればよいとわかった。人の話をよく聞く、笑顔で、自分がしゃべりすぎないことが特に大事だと気づいた。相手が言ったことをもっと深く聞くことができるようにならなければいけない。実際に質問するときは、角度を変えたり、話をしっかり聞くことを頑張りたいと思った。話をつなげられるようにしたり、相手に伝わりやすい質問の仕方を実践したい。



相手に具体的な答えを出してもらう質問がいいとわかった。松村さんが使っていた質問は全部答えが具体的になるものばかりだった。具体的な答えになる質問は、逆算で作れるから、応用をきかせて使いたい。また、松村さんの言う「自分のペース」も必要だと思うから、身につけていきたい。

自分のコミュニケーション能力が今どれくらいなのかをこの授業でよくわかったし、特に相手の気持ちを考えることが心に響きました。人の話を聞き、それに答えることがコミュニケーションなので、わからない話でも無視するのではなく、質問したり、考え方を変えることによって会話が進むことがわかりました。



## 「大学生とのキャリア学習」(協力 金沢工業大学)

宍戸啓太さん（バイオ・化学部 環境・応用化学科）は、教職大学院へ進学し、将来は理科教員になる予定で、横浜市の教員採用試験にもすでに合格されています。二山竜久さん（バイオ・化学部 生命・応用バイオ学科）は、富山県の地元産業である「薬」に関心をもち、高校では薬業科に進学しました。現在は応用化学分野を学び、将来は製薬関係の研究者を目指しています。藤波悠那さん（情報フロンティア学部 メディア情報学科）は、劇団四季に入ることを夢に、音響などの専門的な学びを重ね、実際に劇団四季への合格を果たしました。

当日は3名の大学生から、それぞれの進路選択の理由や経験をもとに、「働くこと」の価値観や「学ぶこと」の意義について、具体的で分かりやすいお話をいただきました。

私は特に学校での学びは役に立つというのが心に残りました。勉強はもちろんのこと、学校生活の中で楽しかったこと、面白かったことも役に立つのだとわかりました。私も好きなことや楽しかったことを通して、学びを広げ、将来につなげたいと思います。



人それぞれ、いろんな価値観をもっており、その価値観や考え方、自分自身の価値観を大切にしていくことで。自分がやりたい仕事につながるということがわかりました。

いろんな人がいてこそ社会が成り立つし、一人一人を尊重し、協調することが大切だとわかった。

自分の好きなことが学校生活の中で生かされる、働くときに自分の長所や得意なことがある、それらがあることで生活のなかに楽しみが生まれてくることがわかった。また、目標も広がっていくこともわかった。



興味をもったことや熱中できることは、自分の夢に直結するものだから、日常の中で気になることはしっかり調べようと思った。

### 先輩としての第一歩～小学校6年生との座談会～

来年度本校に入学てくる小学6年生を迎えて、座談会を行いました。学校生活について説明したり、質問に答えたりする中で、優しさの中にも先輩としての自覚を感じられる、引き締まった表情が印象的でした。

中学生と小学生の双方にとって、来年度に向けた前向きな交流の場となりました。なお、小学生の感想は、クラスルーム「1年生全員」に掲載されています。  
ぜひご覧ください。



### 保護者の皆様へ

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。二期は、各種行事へのご参加やご参観、また通知表渡しへのご出席など、さまざまな場面で温かく見守っていました。保護者の皆様の支えが、生徒たちの安心感や意欲につながっていることを、改めて実感しております。今後とも、学校と家庭が連携しながら、子どもたちの成長を支えていければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

# キャリア学習×探究学習がスタート！～中庭が畑に変身～

12月2日、「畠創世記エピソード0～草との決戦～」と題し、クラス対抗の草むしり合戦を行いました。1年生全員のマンパワーはさすがで、広がっていた雑草地は、あっという間にきれいになりました。

その後も、毎朝や昼休みに少しづつ土を掘り起こし、金津小学校スクールコーディネーターの金谷さんのご指導のもと、堆肥を入れる作業を行いました。現在は、土を「寝かせている」段階です。今後は、土のpHを測定し、どのような野菜を育て、何をテーマに研究していくのかを、生徒たち自身で企画していく予定です。

また、ビニールハウスの設置も、生徒たちの手で行いました。0から始めた中庭の畠プロジェクトは、今まさに進行中です。学年を越えた交流の場ともなり、生徒一人一人の思いが詰まった、学年の「夢」プロジェクトへと育ちつつあります。



【草むしり前の中庭】

【草むしり後の中庭】



## 保護者の皆様へ

保護者の皆様には、農具など多くのご寄付をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただいた品々は、探究活動や畠づくりの中で大切に使わせていただきます。今後ともよろしくお願ひいたします。